

第2学年音楽科学習指導案

指導者 栄小学校 和田 知子
県教育センター指導主事 小松 徹

1. 題材 リズムにのってあそぼう

教材 トルコこうしんきょく
メヌエット
いるかはざんぶらこ
山のポルカ
リズムあそび
ピラミッドのうた

2. 目標

拍の流れに乗って、2拍子や3拍子の特徴を感じ取ったり、リズム譜に親しみ、簡単なリズムを表現したりすることができるようにする。

3. 児童について

男子10名、女子14名の計24名の学級である。男女とも歌ったり楽器を演奏したりすることが好きな子どもが多く、音楽の時間を楽しみにしている。また、朝の会で「今月の歌」を歌うときの表情や、全校で取り組んでいる「ケチャ」を休み時間に練習する様子、昼の放送の音楽に合わせて体を揺らす姿などから、学校生活のいろいろな場面で音楽を楽しんでいることがわかる。

歌に関しては、伴奏をよく聴き、拍の流れに乗って元気な歌声を響かせている。自分や友達の歌声に耳を傾け、音程に気をつけて歌おうとする子どもたちである。ピアノ伴奏に合わせて歌うのが大好きで、授業の始まりにはみんなでピアノを囲んで歌うことにしている。合唱に興味を持っている子も多く、「ビリーブ」や「歌えバンバン」など、「今月の歌」の合唱に挑戦したこともある。

演奏に関しては、いろいろな楽器の音色や演奏方法に興味を持ち、意欲的に取り組む姿が見られる。「かっこう」でのリズム奏や「かえるのがっしょう」の二部輪奏では、「別の手拍子の打ち方を考えたよ」「グループ分けを変えてもう一回やりたい」など、活動を楽しみながら、演奏の仕方を工夫して取り組んでいた。

このように、どんな活動にも興味を示し意欲的に取り組むが、楽しさのあまり気分が高揚して、課題から活動がそれてしまうこともある。導入を工夫し、学習のめあてや活動内容を明確に伝えるなど、授業に集中できるように取り組んでいるところである。

4. 題材について

本題材ではリズムに重点を置き、拍の流れに乗って2拍子と3拍子の特徴を感じ取ったり、簡単なリズムフレーズを表現したりする学習を進めていく。また、音符・休符を読み取ってリズム唱や身体表現をする「リズム視唱」の学習に、初めて取り組む。

「トルコこうしんきょく(ベートーベン作曲)」「メヌエット(ヘンデル作曲)」の2曲は、2拍子と3拍子の違いや特徴が感じ取れる鑑賞曲である。「いるかはざんぶらこ」

と「山のポルカ」はともに、自然に体を動かしたくなるような楽しいリズム感をもった曲であり、それぞれ、3拍子・2拍子の気分を感じ取ることができる。「リズムあそび」は、6種類のリズムパターンを組み合わせ、即興的な表現を楽しむものである。「ピラミッドのうた」では、3拍子の曲の気分を味わいながら、身体表現を交えて歌う活動を楽しむことができる。

以上のように、本題材では、「聴くこと」「歌うこと」「体を使って表現すること」などの幅広い音楽活動を通して、拍子やリズムに対する感覚や表現の技能を身につけることができるようにするものである。

5. 指導にあたって

歌ったり楽器を演奏したりすることが大好きな子どもたちの思いを生かしながら、拍の流れとそのまとまりを自然に感じ取ることができるように、身体表現やリズム模倣、リズム問答、打楽器による簡単なリズム伴奏など、感覚的な活動を中心に進めていきたい。

具体的には、始めに、曲に合わせて行進したり舞踏会の気分でステップを踏んだりする活動、拍子の簡単な動きを決めて、指揮者になった気分での身体表現をする活動など、2拍子と3拍子の曲の特徴を体全体で感じ取れるようにしたい。

次に、リズム譜を見ながらリズム唱やリズム奏をする活動を展開する。バッテリーリズムを使った活動では、休符を意識することによって、拍の流れをよりとらえやすくなると考えられる。「いるかはざんざらこ」では、バンブーダンスで遊びながらリズムを楽しむ活動も取り入れたいが、速い動きに難儀する子どももいると思われるので、身体表現の一つとして扱い紹介するにとどめる。「山のポルカ」では、8分音符や8分休符を含んだ軽快なリズムを、リズム唱やバッテリーリズム、鍵盤ハーモニカとリズム伴奏の組み合わせなどの活動を通して味わわせたい。「リズムあそび」では、一人一人に6種類のリズムパターンカードを持たせ、カードを選んで並べるだけでリズムフレーズが作れるようにする。一人では正確にリズムが打てない子どもでも、その子どもの作ったフレーズをみんなで演奏したり、グループの友達と一緒に手を打ってみたりすることによって、満足感や達成感が得られると考えられる。

本校では、「表現する喜びを味わえる子どもの育成をめざして～言語表現力を高めるためのインターネットTVの活用」を研究主題としている。本題材では、「リズムあそび」において、活動の動機づけや、発表の機会を保障し達成感を持たせるねらいから、インターネットTVを活用する。導入の部分では、子どもたちの興味・関心が高まるような映像の提示をしてもらい、グループ活動の場面では、各グループの演奏を聴いての感想や助言をお願いしている。これにより、「リズムフレーズをつくりたい」「演奏したい」という活動面での意欲を高め、ひいては、気付いたことや感じたことを「話したい」という言語表現意欲にもつながっていくものと考えている。

題材の評価規準と学習活動における具体的評価規準

	ア 音楽への関心 ・意欲・態度	イ 音楽的な感受 や表現の工夫	ウ 表現の技能	エ 鑑賞の能力
題材の 評価 規準	リズムのおもしろさに気づき、進んでリズム遊びやリズムづくりを楽しもうとしている。	拍子の特徴を感じ取って、演奏の仕方や身体表現を工夫している。	リズム譜を見ながら、拍の流れに乗って楽器を演奏することができる。	2拍子と3拍子の音楽の気分の違いを感じ取りながら聴くことができる。
歌唱				
器楽				
創作				
鑑賞				
学習 活動 に お け る 具 体 の 評 価 規 準	リズム譜を見ながら楽器を演奏することに興味を示している。 拍の流れに乗って、友だちとリズムを合わせながら表現を楽しんでいる。 楽しんでリズム遊びをしている。	拍子の違いによる曲の気分を感じ取って、身体表現を工夫している。 3拍子の拍の流れを感じ取って、歌ったりリズム打ちをしたりしている。 拍の流れに乗って、リズムフレーズの表現を工夫している。 3拍子の気分を感じ取って、伸び伸びと歌っている。	歌に合わせて、2拍子のリズム伴奏をすることができる。	拍子の特徴の違いに気付いて聴くことができる。

6. 指導計画及び評価規準 (全11時間)

見 材 の 評 価 規 準			
音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
リズムのおもしろさに気付き、進んでリズム遊びやリズムづくりを楽しもうとしている。	拍子の特徴を感じ取って、演奏の仕方や身体表現を工夫している。	リズム譜を見ながら、拍の流れに乗って楽器を演奏することができる。	2拍子と3拍子の曲の気分の違いを感じ取りながら聴くことができる。

教材曲	トルコこうしんきょく 山のボルカ	メヌエット リズムあそび	いるかはざんぶらこ ピラミッドのうた
-----	---------------------	-----------------	-----------------------

時間	ねらい	主な学習活動	学習形態	教材曲	具体の評価規準				努力を要する子どもへの手だて
					音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力	
1	第1次	それぞれの楽曲に合う身体表現を工夫し、拍子の特徴の違いを感じ取る。							
	場面を想像しながら楽曲を聴くことができるようにする。	「トルコこうしんきょく」を聴く。 ・音楽に合わせて行進しながら聴く。 ・挿絵の中の楽器を演奏する真似をして聴く。 ・始めの旋律を口ずさみながら聴く。 「メヌエット」を聴く。 ・挿絵から、この音楽が演奏されている場面の様子を想像しながら聴く。 ・二人で向かい合い、音楽に合わせてステップを踏む。	一斉 個別			1. 拍子の違いによる曲の気分を感じ取って、身体表現を工夫している。 (会話や発言、身体表現の観察)		1. 手拍子を打つように声をかけたり、一緒に歩いたり踊ったりして、体全体で拍を感じることができるようにする。	
2	拍子の特徴を感じ取って曲を聴くことができるようにする。	拍子の違いによる曲の気分を感じ取る。 ・挿絵に示された2つの動作をしながら2曲を聴き、それぞれの曲がどちらに合うか確かめる。 ・2つの曲の特徴の違いについて、気付いたことを発表し合う。 ・グループに分かれて、それぞれの曲の感じを生かした身体表現を工夫する。 ・グループごとに、工夫した身体表現を発表し、全体で真似をする。 それぞれの拍子の特徴を感じ取って、音楽を聴く。 ・挿絵を見ながら、2拍子と3拍子の指揮の真似をする。 ・指揮の真似をしながら音楽を聴く。	一斉 個別				2. 拍子の特徴の違いに気付いて聴くことができる。 (身体表現の観察)	2. 指揮、行進、ダンスなどの身体表現の方法があることを伝え、選ばせる。 3. 動きの細かな部分は気にしないようにし、楽しい気分で体を動かせるようにする。	
	第2次	2拍子と3拍子の特徴を感じ取って歌ったり、リズムを楽器で演奏して歌と合わせたりする。							
3	曲の感じをつかんで歌ったり、リズム譜を見ながら打楽器で演奏したり、リズム遊びをしたりして楽しむことができるようにする。	曲の感じをつかんで歌う。 ・範唱に合わせて体を揺らしながら聴く。 ・3拍子の拍の流れを感じ取って歌う。 ・二人一組になり、歌に合わせて3拍子のリズム打ちを工夫する。 リズム譜を見ながら打楽器で演奏する。 ・リズム譜を見て、手拍子やひざ打ちをしながらリズム唱をする。 ・歌詞唱をしながら手拍子やひざ打ちをする。 ・曲の終わりのリズムを考える。 ・二人一組になり、上下段のリズムを分担して、リズム打ちの練習をする。 ・バッテリーリズムを打楽器で演奏する。 ・歌に合わせてリズムを演奏する。 3拍子のリズムに乗って、パンブーダンスを楽しむ。	一斉						
			一斉		3. 3拍子の拍の流れを感じ取って、歌ったりリズム打ちをしたりしている。 (歌声の聴取、表情や身体表現の観察)		4. そばに寄って拍を打ってやり、拍の流れに乗れるようにする。		
4	リズム譜を見ながら打楽器で演奏したり、リズム遊びをしたりして楽しむことができるようにする。	リズム譜を見ながら打楽器で演奏する。 ・リズム譜を見て、手拍子やひざ打ちをしながらリズム唱をする。 ・歌詞唱をしながら手拍子やひざ打ちをする。 ・曲の終わりのリズムを考える。 ・二人一組になり、上下段のリズムを分担して、リズム打ちの練習をする。 ・バッテリーリズムを打楽器で演奏する。 ・歌に合わせてリズムを演奏する。 3拍子のリズムに乗って、パンブーダンスを楽しむ。	一斉						
			一斉		4. リズム譜を見ながら楽器を演奏することに興味を示している。 (活動の様子の観察や演奏の聴取) 5. 拍の流れに乗って、友だちとリズムを合わせながら表現を楽しんでいる。 (表情や身体表現の観察)		5. 床に線を描いたりゴムひもを使ったりして練習できるようにする。		
5	リズム伴奏に乗って歌ったり、合奏したりして楽しむことができるようにする。	聴いたり歌ったりして曲の気分を感じ取る。 ・範唱を聴く。 ・2拍子の拍の流れに乗って歌う。 ・旋律の階名唱をする。 ・フレーズごとに交互唱をする。 リズム譜を見ながらリズム伴奏をする。 ・リズム譜を見て、リズム唱をする。 ・手や足、ひざなどを使ってバッテリーリズムを打つ。 ・バッテリーリズムを打ちながら歌う。 ・二人一組になって、打楽器の組み合わせや終わり方を工夫する。 ・打楽器でバッテリーリズムを打ちながら歌う。 拍の流れに乗って旋律を楽器で演奏する。 ・旋律の階名唱をする。 ・鍵盤楽器でフレーズごとに分担奏をする。 ・全曲を通して鍵盤楽器で演奏する。 リズム伴奏に乗って歌ったり、合奏したりして楽しむ。 ・歌に合わせて、鍵盤楽器や打楽器などを演奏する。	一斉						
			一斉		6. 歌に合わせて、2拍子のリズム伴奏をすることができる。 (表現の観察や演奏の聴取)		6. 同じ旋律や似た旋律があることに気付かせる。		
6	リズム伴奏に乗って歌ったり、合奏したりして楽しむことができるようにする。	リズム譜を見ながらリズム伴奏をする。 ・リズム譜を見て、リズム唱をする。 ・手や足、ひざなどを使ってバッテリーリズムを打つ。 ・バッテリーリズムを打ちながら歌う。 ・二人一組になって、打楽器の組み合わせや終わり方を工夫する。 ・打楽器でバッテリーリズムを打ちながら歌う。 拍の流れに乗って旋律を楽器で演奏する。 ・旋律の階名唱をする。 ・鍵盤楽器でフレーズごとに分担奏をする。 ・全曲を通して鍵盤楽器で演奏する。 リズム伴奏に乗って歌ったり、合奏したりして楽しむ。 ・歌に合わせて、鍵盤楽器や打楽器などを演奏する。	一斉						
			一斉		7. 拍の流れに乗って、楽器を演奏することができる。 (演奏の聴取)		7. 音色や音量のバランスを考えられるように助言する。		
7	リズム伴奏に乗って歌ったり、合奏したりして楽しむことができるようにする。	リズム譜を見ながらリズム伴奏をする。 ・リズム譜を見て、リズム唱をする。 ・手や足、ひざなどを使ってバッテリーリズムを打つ。 ・バッテリーリズムを打ちながら歌う。 ・二人一組になって、打楽器の組み合わせや終わり方を工夫する。 ・打楽器でバッテリーリズムを打ちながら歌う。 拍の流れに乗って旋律を楽器で演奏する。 ・旋律の階名唱をする。 ・鍵盤楽器でフレーズごとに分担奏をする。 ・全曲を通して鍵盤楽器で演奏する。 リズム伴奏に乗って歌ったり、合奏したりして楽しむ。 ・歌に合わせて、鍵盤楽器や打楽器などを演奏する。	一斉						
			一斉		8. 楽しんでリズム遊びをしている。 (活動の様子の観察)		8. 互いに歌う様子が見えるようにし、友だちの身体表現や表情の良さに気付かせるようにする。		
8	リズム伴奏に乗って歌ったり、合奏したりして楽しむことができるようにする。	リズム譜を見ながらリズム伴奏をする。 ・リズム譜を見て、リズム唱をする。 ・手や足、ひざなどを使ってバッテリーリズムを打つ。 ・バッテリーリズムを打ちながら歌う。 ・二人一組になって、打楽器の組み合わせや終わり方を工夫する。 ・打楽器でバッテリーリズムを打ちながら歌う。 拍の流れに乗って旋律を楽器で演奏する。 ・旋律の階名唱をする。 ・鍵盤楽器でフレーズごとに分担奏をする。 ・全曲を通して鍵盤楽器で演奏する。 リズム伴奏に乗って歌ったり、合奏したりして楽しむ。 ・歌に合わせて、鍵盤楽器や打楽器などを演奏する。	一斉						
			一斉		9. 拍の流れに乗って、リズムフレーズの表現を工夫している。 (演奏の聴取)				
9	リズム伴奏に乗って歌ったり、合奏したりして楽しむことができるようにする。	リズム譜を見ながらリズム伴奏をする。 ・リズム譜を見て、リズム唱をする。 ・手や足、ひざなどを使ってバッテリーリズムを打つ。 ・バッテリーリズムを打ちながら歌う。 ・二人一組になって、打楽器の組み合わせや終わり方を工夫する。 ・打楽器でバッテリーリズムを打ちながら歌う。 拍の流れに乗って旋律を楽器で演奏する。 ・旋律の階名唱をする。 ・鍵盤楽器でフレーズごとに分担奏をする。 ・全曲を通して鍵盤楽器で演奏する。 リズム伴奏に乗って歌ったり、合奏したりして楽しむ。 ・歌に合わせて、鍵盤楽器や打楽器などを演奏する。	一斉						
			一斉		10. 3拍子の気分を感じ取って、伸び伸びと歌っている。 (表情や身体表現の観察、歌声の聴取)				
10	リズム伴奏に乗って歌ったり、合奏したりして楽しむことができるようにする。	リズム譜を見ながらリズム伴奏をする。 ・リズム譜を見て、リズム唱をする。 ・手や足、ひざなどを使ってバッテリーリズムを打つ。 ・バッテリーリズムを打ちながら歌う。 ・二人一組になって、打楽器の組み合わせや終わり方を工夫する。 ・打楽器でバッテリーリズムを打ちながら歌う。 拍の流れに乗って旋律を楽器で演奏する。 ・旋律の階名唱をする。 ・鍵盤楽器でフレーズごとに分担奏をする。 ・全曲を通して鍵盤楽器で演奏する。 リズム伴奏に乗って歌ったり、合奏したりして楽しむ。 ・歌に合わせて、鍵盤楽器や打楽器などを演奏する。	一斉						
			一斉		11. 3拍子の気分を感じ取って、自由に身体表現をする。 ・身体表現をしながら歌う。				
11	リズム伴奏に乗って歌ったり、合奏したりして楽しむことができるようにする。	リズム譜を見ながらリズム伴奏をする。 ・リズム譜を見て、リズム唱をする。 ・手や足、ひざなどを使ってバッテリーリズムを打つ。 ・バッテリーリズムを打ちながら歌う。 ・二人一組になって、打楽器の組み合わせや終わり方を工夫する。 ・打楽器でバッテリーリズムを打ちながら歌う。 拍の流れに乗って旋律を楽器で演奏する。 ・旋律の階名唱をする。 ・鍵盤楽器でフレーズごとに分担奏をする。 ・全曲を通して鍵盤楽器で演奏する。 リズム伴奏に乗って歌ったり、合奏したりして楽しむ。 ・歌に合わせて、鍵盤楽器や打楽器などを演奏する。	一斉						
			一斉		11. 3拍子の気分を感じ取って、自由に身体表現をする。 ・身体表現をしながら歌う。				

7 . 本時の実際 (9 / 1 1)

(1) ねらい リズムフレーズの組み合わせ方を工夫し、拍の流れに乗ってリズム打ちをすることができる。

(2) 学習の展開

学習活動	形態	教師のかかわり (はセンターの指導主事の支援)	評価【評価方法】 努力を要する子どもへの手だて
1 . リズム遊びをする。 2 . 今日の学習内容を知る。	一斉 一斉		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> いろいろなリズムを組み合わせさせてあそぼう。 </div>		祭りの画像や絵などを提示し、感じたことや気付いたことを発表させる。 本時の活動につながるつづやきがあれば取り上げる。	
2 . リズム譜を見ながら、リズム打ちをする。 言葉で・手拍子で	一斉	リズムフレーズを示し、範唱や範奏をしてみせる。	難儀している子には、そばで一緒に声を出したり手拍子を打ったりする。
3 . 6種類のカードの中から4つを自由に組み合わせ、リズムフレーズをつくる。	個別 一斉	イメージがふくらむような言葉かけにより、強弱をつけたり、いろいろな速さでの演奏を試してみたりできるようにする。 ・にぎやかなお祭り ・ありのおまつり ・遠くから聞こえるお祭りの音 ・ぞうのお祭り ・忙しい感じのお祭り	何人かの子のリズムフレーズを紹介して模倣させたり、2種類のリズムフレーズの掛け合いをさせたりして、一人ではうまく作れない子もリズム遊びができるようにする。
4 . つくったリズムフレーズをグループごとに演奏する。 ・一人一人のリズムフレーズを聴き合う。 ・グループごとにリズムリレーをする。	グループ	友達のリズムフレーズを紹介しリズム模倣を促す。 メトロノームや友達が打つ拍に合わせて打つことができるようにする。 各グループを回り、打楽器で拍を打ったり、うまくできない子と一緒にやってみたりする。 グループの演奏を聴いて感想を伝え、必要に応じてアドバイスをする。	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 楽しんでリズム遊びをしている。評価8 (音楽への関心・意欲・態度) 【活動の様子の観察】 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 拍の流れに乗って、リズムフレーズの表現を工夫している。評価9 (音楽的な感受や表現の工夫) 【演奏の聴取】 </div>
5 . 今日の学習の感想を発表する。		自分がやってみての感想や、友達の演奏を聴いての感想を発表することができるようにする。	
6 . 次時の学習内容を知る。		本時のリズムフレーズを使った演奏の楽しみ方がほかにもあることを知らせ、次時への意欲が高まるようにする。 ・友達と重ねて ・「わっしょい」に合わせて ・いろいろな楽器を使って	